

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス en able				公表日	令和7年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		一人一人活動に応じたスペースを考え同じ場所に利用者様が集中しないように活動内容を時間で管理している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		職員間で声を掛け合い抜けた所にフォローに入るようにしている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	階段や段差等がある為、バリアフリー化されているとは言えないが、利用者様一人一人に合わせた対応を取っている。	階段が苦手な利用者様に対しては、職員がついて昇降する。段差がある場所には、視覚的に周知する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日、掃除を行っている。時間のある場合は、利用者様に社会性を付けていただくために掃除を一緒に行っている。活動場所を分けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		特性に合わせた場所を設定している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		日々のミーティングを通して、職員間で情報共有に取り組んでいます。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		評価表が返ってきたタイミングで、職員と話し合いを行い改善できる点を改善した。	親子で参加できるイベントを計画する。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティング、面談を通して意見等を出し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1	年に1回開催している。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年2回の法人研修や月1回の研修を開催している。外部研修に参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		利用者様一人一人に合わせたプログラムを作成し公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		送迎等都度、保護者様からのニーズを知る機会を増やすようにしている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画に沿った支援の提供に努めている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の状況や環境に合わせた方法で確認している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	支援内容は設定しているが、実施できていない事があるので、徹底した支援をしていきたい。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		毎朝ミーティングを行い、活動プログラムを決定している。		

× 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		前回の活動や取り組みの様子を見て、活動プログラムを変えている。平日、休日、長期休みの内容や場所を変えコンセプトを持って計画をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		作業（個別）、体を動かせる集団活動（トレッキング）、外出（集団活動）を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎朝ミーティングを行い、活動プログラムを決定している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	気付いた点は都度情報共有を行い、基本翌日にミーティングを行なっている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		当日に日誌を記入し、気付いたことは職員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		面談やモニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		事業所の特色を活かして支援するように努めている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		利用者のレベルに応じて自発的に発信できる言葉かけを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	利用者様の気付いたことは、相談員や学校に聞き情報を共有している。	親御さんからの相談を聞く環境を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		年間予定表や下校時間の把握は学校、親御さんに問い合わせしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		6		最初のアセスメント時に行う事が多い。状況に応じて情報共有をしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		相談員さんを通して行っている。問い合わせがあった場合情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		今後、参加する機会を作っていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	縁日や野外活動で関わる機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		今後、参加する機会を作っていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時や日誌を通してお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		今後、参加する機会を作っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		見学时、契約時のアセスメント、モニタリング時に意向を聞かせていただいている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		契約時に説明をしている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	緑日や運動会を開催し保護者同士で交流することができるよう取り組んでいる。	アンケートで取り組みが少ないとご指摘がありました。今後交流する機会を増やしていきます。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6				
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			細心の注意を払って取り扱っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			LINE等を用いて文字に文字に残して見返せるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1		緑日の開催、地域の掃除に参加している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			職員の研修、訓練を実施した場合は日誌を通して報告している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			年2回の法人研修、事業所ごとに訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			契約時に聞き取りを行い、服薬の変更があった場合は親御さんに話を聞いている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			アレルギー情報を職員が把握できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			定期的に避難訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			事業所内で検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			外部の研修、事業所内の研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			研修等で学び、自己判断せず法人全体で事案を話し合っ決定します。		